

[採用に関するお問い合わせ]

# 財務省

大臣官房秘書課

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1  
TEL.03-3581-4111 (内線5305)



MINISTRY OF FINANCE

# 財務省

一般職入省案内

2022



財務省本省  
一般職採用HP



公式Twitter

[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/recruit/mof/index.htm](https://www.mof.go.jp/about_mof/recruit/mof/index.htm)

## 財務省 一般職入省案内 2022

目次	01	
巻頭言／財務省の使命	03	
財務省の組織	05	
財務省の活動	06	
<b>【第1部】財務省の業務</b>	<b>07</b>	
・主計局 07	・国際局 11	・主税局 14
・理財局 09	・大臣官房 13	・関税局 14
<b>【第2部】財務省の人材育成と制度</b>	<b>15</b>	
・入省後のキャリアパス	15	
・若手職員の業務紹介	17	
・財務省の研修制度	19	
・ワークライフバランス	21	
<b>【第3部】財務省職員からのメッセージ</b>	<b>23</b>	
・出向者対談 23	・上司×部下対談 28	
・同期対談 25	・係員の1日 29	
・先輩×後輩対談 27	・係員の1週間 30	
・令和3年採用職員からのメッセージ	31	
・若手職員アンケート	33	
・採用担当者からのメッセージ	34	



財務事務次官 矢野 康治  
【昭和60年入省】

## 巻頭言

私たちは、  
「国の信用を守り、  
希望ある社会を次世代に引き継ぐ」との  
使命を胸に、知性と理性を研ぎ澄ませて、  
謙虚にひたむきに、楽しく頑張っています。  
皆さんが財務省の一員となり、  
より良い日本のために、  
一緒に頑張れる日を、楽しみにしています。

財務事務次官 矢野 康治

### 財務省の使命

国の信用を守り、  
希望ある社会を次世代に引き継ぐ。

納税者としての国民の視点に立ち、効率的かつ透明性の高い行政を行い、  
国の財務を総合的に管理運営することにより、広く国の信用を守り、健全  
で活力ある経済及び安心して豊かな社会を実現するとともに、世界経済の安  
定的発展に貢献して、希望ある社会を次世代に引き継ぐこと。

# 財務省の組織

## 財務省

財務大臣
副大臣(2)
大臣政務官(2)
事務次官
秘書官
財務官

### 本省

内部部局						施設等機関	地方支分部局	
大臣官房	主計局	主税局	関税局	理財局	国際局	財務総合政策研究所	財務局	税関
官房長	局長	局長	局長	局長	局長	会計センター	財務事務所	税関支署
総括審議官	次長(3)	総務課	総務課	次長(2)	次長	関税中央分析所	出張所	税関出張所
政策立案総括審議官	総務課	調査課	管理課	総務課	総務課	税関監視署		税関監視署
公文書監理官	司計課	税制第一課	関税課	国庫課	調査課	税関研修所		
サイバーセキュリティ・情報化審議官	法規課	税制第二課	監視課	国債企画課	国際機構課			
審議官(11)	給与共済課	税制第三課	業務課	国債業務課	地域協力課			
参事官(9)	調査課	参事官(2)	調査課	財政投融资総括課	為替市場課			
秘書課	主計官(11)			国有財産企画課	開発政策課			
文書課	主計監査官			国有財産調整課	開発機関課			
会計課				国有財産業務課				
地方課				管理課				
総合政策課				計画官(2)				
政策金融課								
信用機構課								
厚生管理官								

### 外局

国税庁	
内部部局	地方支分部局
本庁	国税局
	税務署

# 財務省の活動

## 財務省の政策ツール

財務省は、国の資金の流れという観点から、国家のあらゆる分野について重要な動きに関わっています。財務省は、多様な政策ツールを有しており、またカウンターパートも多岐にわたります。政策ツールは、「財政政策」、「マーケット関連政策」、「国際関連政策」の3つに分類することができます。

### 財政政策

#### 予算編成

カウンターパート

#### 税制企画

#### マクロ経済政策

#### 財政投融资

内閣府	法務省	経済産業省
警察庁	外務省	国土交通省
金融庁	文部科学省	環境省
復興庁	厚生労働省	防衛省
総務省	農林水産省	

### マーケット関連政策

#### 政策金融

#### 国債管理政策

#### 為替政策

カウンターパート

為替市場	株式市場	金融庁
債券市場	金融システム	日本銀行

### 国際関連政策

#### 関税政策

#### 国際金融政策

#### 途上国開発政策

カウンターパート

G20・G7	国際開発金融機関 (世界銀行、ADB等)	発展途上国
IMF		WTO・WCO

国内

海外

## 主計局

主計局総務課課長補佐  
村田 浩司 [平成10年入省]  
MURATA Koji



主計局国土交通第六係  
染谷 隼 [平成29年入省]  
SOMEYA Hayato



## 国家予算と向き合って

### 現在の業務内容

私が現在所属している主計局総務課は、国の予算編成の舵取り役という重要な業務を担っています。国の予算は毎年8月末から12月にかけて、主計局予算担当係において、各省庁の予算要求内容を査定することになりますが、総務課では日々の社会・経済情勢を見つ、予算編成全体のスケジュールを管理し、必要な指示や作業依頼を行います。また、12月に翌年度予算の大枠が決定すれば直ちに予算書など国会提出資料の作成に取りかかることとなりますが、総務課はそのとりまとめもしています。その他、予算の流用など法令に基づく各省大臣から財務大臣への協議事項にかかる審査なども行っており、その業務は多岐にわたっています。

### 主計局の魅力・やりがい

主計局の魅力としては、まずは国家予算全般に関わる業務ですので、幅広い分野で仕事ができるということです。各省庁はそれぞれの所掌する分野における政策の企画立案・実施等を

担っていますが、主計局は全省庁の政策に予算を通じて関わることができます。私も教育や外交など複数の分野の予算を担当しましたが、各分野特有の視点や考え方をすることはとても新鮮な経験でしたし、そこで得た新たな視点で世の中を眺めると今まで見えていなかったものが見えてくることもあります。

また、予算といえば、電卓やエクセルと悪戦苦闘というイメージをお持ちかもしれませんが、各省庁との政策議論こそ予算編成の醍醐味です。「何が課題か」「何をすべきか」「何ができるか」、こうしたシンプルな問いを投げかけ、相手方の省庁と「国のあるべき姿」を議論し、上司と査定方針を固め担当予算をまとめていく過程はとてもやりがいがあります。加えて、議論の中で各省庁担当の本音をどこまで聞き出せるか、そのための傾聴力、想像力そして忍耐力も必要なので、人としても成長できる場です。

### 課長補佐として

この職場には、本当に色々な職員がいて、日々、様々な意見が出てきますので、とても刺

激的で飽きない職場だと感じています。上司や部下との議論では、時に意見が食い違うこともありますが、それもひとえに風通しの良い職場であるからで、そうした環境面での積み重ねが、質の高い業務や政策につながっていくものと実感しています。

私の就職活動当時の財務省へのイメージは堅苦しい職場という印象しか持っておらず、官庁訪問時に、財務省の正門前に立った際には圧倒されましたが、訪問後に抱いた印象は全く違いました。是非一度、財務省の門をたたいてみて、財務省の雰囲気を感じてもらえれば幸いです。今後、一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。



## 予算を通して日本の未来を考える

### 現在の業務内容

私は、国の公共事業予算及び国土交通省予算を担当する公共事業総括・国土交通係において、主に港湾整備にかかる予算の編成業務を行っています。港湾整備とは、コンテナ船が着岸するための岸壁や港を守る防波堤などの整備を行うものです。

私たちのように予算編成に携わる係は「予算係」と呼ばれ、それぞれ担当する省庁の予算編成を行うことが主な業務です。例年8月末に各省庁から来年度予算の要求がなされ、12月末の来年度の政府予算案の閣議決定に向けて、およそ4か月の間、担当する予算について相手省庁の担当者や何度も何度も議論を重ね、政策の方向性やその予算の妥当性等について検討を行います。また、職員の出張費や備品費など、業務を行うための土台となる予算についても、何

のために、どのくらい購入するのかなど、必要な内容・分量まで細かく確認し、その妥当性を検討します。

### 現在の業務の魅力・やりがい

私が考える主計局の一番の魅力は、各省庁の業務や政策を詳しく知ることができることに、政策をより良くするために一緒になって考えることができることです。これは、各省庁が政策を実施するために必要な予算の編成を行うという主計局ならではの魅力だと思います。例えば、私の場合、これまでの人生において「港湾」というものを知る機会はほとんどありませんでしたが、主計局において港湾関係予算に携わったことで、港湾が日本の物流の要であることを知り、また、その将来についても、国土交通省港湾局の担当者と一緒に考えることができ



ました。また、国家予算は国民生活に直接影響を与えるものであるため、世間の注目度がとても高いものです。その分、責任も大きく重圧もありますが、自分が担当した予算がニュースで大きく報じられることもあり、その点も主計局の醍醐味だと思います。

### 主計局概要

#### 国の予算の編成や決算の作成、会計制度の企画・立案等

社会保障、公共事業、教育、安全保障、食料の安定供給等国の政策実現の裏付けとなるのが予算です。予算編成過程における各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

# 理財局

理財局管理課  
国有財産情報室長  
石井 克憲 [平成元年入省]  
ISHII Katsunori



## 地域や市場に耳を傾けて

### 現在の業務内容

理財局の業務の一つとして国有財産の管理があります。国有財産である国有地は一般に想像されるよりも広く、わが国の国土の総面積約3,700万ヘクタールのうち、約4分の1(その大部分は国有林ですが)を占めています。

私の所属する国有財産情報室では、各省庁において国有財産台帳に登録が行われた国有財産の情報を毎年度国の決算として承認を得るために、集計のうえ分類し国会に報告しています。また、国有財産に関する様々な情報を、国民に対して分かりやすく提供することを業務としています。

### 理財局の魅力・やりがい

国民生活と身近な関係にあるものを対象の業務としているのが理財局の魅力の一つです。例えば、渋沢栄一翁の肖像を図柄にした新一万円札の発行や個人向け国債の募集のほか、

皆さんのお宅や学校の近くにある様々な国有財産を通じた、地域のまちづくりへの貢献などもその業務の範囲の一つです。なお、国有財産の管理処分業務は、主に全国各地にある財務局で行っていますが、理財局では、その運営の基となる指針・通達などの策定をしているほか、時には大規模な国有財産の新たな処理方針を検討することもあります。

他方、理財局のもう一つの魅力として、マーケットを相手にして行われている業務もあります。例えば、国債の発行は常に国債市場と対話を重ねながら行われ、例えば、東京メトロの株式(半数が国有財産です)も株式市場の動向等を踏まえながら、理財局を中心として売却が進められていく予定です。

このように、理財局の業務は、国民生活に身近な関係にあるものやマーケットを対象としているため、その対応にはとても神経を使う部分もありますが、政策の手応えをダイレクトに感じることができるというやりがいがあります。

### 管理職として

財務本省の職員には、様々な採用形態・出身地(日本の全国各地)の方々があります。本省で採用された方、若いうちに本省での経験を積むために地方機関から出向してきた方、そして、そのままずっと本省で一緒に働くことになった方、更には各地域での経験やその知識、実情を本省での政策検討に活かすため役職クラスで出向されている方など、そのライフステージ、キャリアステータスも様々です。このような方たちが、ときに小さな穴にはまったり、大きな壁を前に立ちすくんでいたりと、私たちのように財務本省に長く席を置く者が、これまで本省で自ら経験した失敗等を踏まえ、「そんな大したことじゃないよ。きつそうまくいくよ。」と、時には彼らに代わって立ち向かい、時には支えてあげる、といったことが管理職の役割だと思っています。

理財局経済産業第二係  
佐竹 千尋 [平成29年入省]  
SATAKE Chihiro



## 多角的な視点から日本を捉え、未来を創造する財政投融资

### 現在の業務内容

私は現在、理財局経済産業第二係に在籍しており、財政投融资計画の編成・執行業務を行っています。財政投融资とは、税金を用いずに国債によって調達した資金等を原資として、採算性はあるものの民間だけでは十分に対応が困難な分野に対して、国が投融资により資金を供給し、その後受益者から償還を受ける財政政策です。その中でも経済産業第二係では、政府系金融機関や、経済産業省が所管する政府系ファンド(官民ファンドと呼ばれ、国の政策に基づいて政府と民間が共同で出資する機構です。)、独立行政法人と多岐にわたる分野を担当しています。毎年8月末に各機関から財政投融资計画の提出を受けた

後、その詳細についてヒアリングを重ね、財政制度等審議会の「財政投融资分科会」という会議において外部有識者から意見聴取を行いながら、年末の閣議決定に向けて編成作業を進めます。それに並行して、当年度の計画の進捗に応じて、実際に各機関に投融资を実行する執行業務も行っていきます。

### 現在の業務の魅力・やりがい

財政投融资は、名前のとおり「投資・融資」です。予算には償還という考えはなく、使用時の効果を踏まえて先に措置されるものですが、財政投融资は、償還額を含めた独立採算であり、そもそも国が措置すべきなのかどうか、政策的必要性や

有効性、償還確実性はどうか、といった観点から見極める必要があります。これらの観点から最適な判断を下すために、担当事業について多角的な視点から検討し、各省庁・関係機関と議論を重ねます。その中で、事業の仕組みや、金融的な見識など、日々様々な知識を吸収しているという手応えを感じています。

また、政府系金融機関は現在、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小・小規模事業者の資金繰り支援に尽力しており、その財源に財政投融资が活用されています。日々の投融资の執行業務を通じて、自分の業務が国民生活に直結していることを改めて実感します。

本省ならではのダイナミズム・やりがいを感じながら、責任感を持って業務に打ち込んでいます。

### 理財局概要

#### ●国庫・通貨

収入支出の調整(資金繰り)を行う等、国庫金の効率的・統一的な管理、運用を図っています。また、通貨に対する信頼維持のため、通貨制度の企画・立案、通貨の製造計画の策定、偽造対策等も行っていきます。

#### ●財政投融资

税財源によらない国の投融资活動です。リスクが高く、民間では十分に対応できないものの、政策的必要性から資金供給を行うべき分野に対して、財投債の発行によって調達した資金等を財源として、長期・固定・低利の融資やリスクマネーの供給を行っています。

#### ●国債管理

税収等で賄えない歳出需要を賄うため、国債の発行または借入により資金調達を行っています。確実かつ円滑な国債発行により、資金を確実に調達するとともに、中長期的な調達コストを抑制するため国債管理政策を企画・立案し、執行しています。

#### ●国有財産

国有財産は、国が所有する土地や庁舎等の建物といった不動産、国が政策的な出資により取得した株式等、国民共有の資産です。こうした国有財産を適正に管理または処分し、財政に貢献するとともに、地域・社会のニーズに応じて有効に活用しています。

## 国際局

国際局開発政策課課長補佐  
久木田 いずみ [平成29年入省]  
KUKITA Izumi



# 国際的な社会課題に真摯に向き合う

### 現在の業務内容

私の所属する参事官室は、開発途上国の経済社会の安定的発展に資するための資金協力として、円借款(低利・長期の緩やかな条件での資金貸付)や海外投融資(民間活動支援を通じた経済協力)を通じて、地球環境や貧困問題の改善に向けた取組支援などを推進しています。最近では、新型コロナウイルス感染症危機対応関連で一時的に財政が悪化した国に対し、緊急支援のための円借款供与なども行っています。

### 国際局の魅力・やりがい

国際局の気風を言葉で表すと「自由でエネルギッシュ」だと思います。上司も国際感覚を身につけたバイタリティのある方が多いです。若手からの意見もフラットに聴き、議論する風土があるので、積極的にチャレンジしがいがあり、また、チャレンジするほど能力が伸びる職場だと思います。

国際局参事官室の仕事は、基本的に国・地域ごとに担当が決まっており、課長補佐・係長・係員のチームで案件に対応し、とりまとめ、更に上司に

話っていきます。私の役割はいわゆる中間管理職的な立ち位置で、全体のスケジュール等を考えながらチームとして効率的にパフォーマンスが発揮できるよう調整することです。

今の立場で気を付けていることは、あまり職位や担当にとらわれ過ぎないことです。仕事には繁閑もあり、人にも得手不得手、経験の差もあることを理解しながら、チームがベストパフォーマンスを発揮できるよう、時には指導的立場で、時にはプレーヤーとして、状況に応じて役割を果たしたいと思っています。上司、部下の方も皆、互いに協力しようとする意識が高く、チームワークの重要性をいつも再認識しています。

国際局の仕事は、世界情勢を念頭に置きながら、自分の業務が日本のためにも他国の支援にも繋がっていることを実感することができます。海外勤務や国際会議への出席などの経験機会もあるので、国際社会に係わることに興味のある方には是非チャレンジしていただきたいと思っています。

### ワークライフバランスの推進について

財務省では、ワークライフバランスについても

理解があり、仕事を充実させるため、自分の時間を大切にするように推奨されています。コロナ禍を機に、テレワークなどの働き方改革や環境整備が進んだこともあり、在宅で業務を進めることも当たり前になってきています。また、公務員全体として、ここ数年で子育てと仕事の両立支援が推進されており、女性職員の育児休業や育児時間(勤務時間を短縮する制度)などはもとより、男性職員も育児休業を多く活用しています。かくいう私も上司をはじめ周りの方のサポートを得て制度を活用した一人です。

マネジメントする立場となりましたが、今後、育児等を行う部下職員が更に働きやすい職場となるよう、自身の経験を通じて得たことを十二分に活かしていきたいと思っています。



国際局為替市場課相場第二係  
芹澤 花奈 [平成29年入省]  
SERIZAWA Kana



## 世界の“今”を映し出す、為替相場と対峙する

### 現在の業務内容

為替市場課は、外国為替市場及び国際収支(日本と外国との間で行われた経済取引)に関する調査・分析や外貨準備(為替介入等のための資産)の管理・運用等に関する業務を所掌しており、私が所属する相場係では、外国為替市場に関する業務を行っています。

国境を越えた資金移動が活発に行われている現代において、為替相場の安定は、日本に限らず、世界経済全体の健全な発展にとって必要不可欠です。

各国の経済情勢を適切に反映し、安定的な国際金融システムを維持することが財務省の使命であり、為替相場に過度な変動や無秩序な動きが見られれば、財務省として発言・発信を行

い、状況に応じて各国と協調した為替介入も実施します。

そのため、日々のマーケット動向の把握やその原因分析が重要な業務となります。

為替レートに影響を与える海外の経済指標やイベント等を確認し、日本銀行や市場関係者へのヒアリングを通じて、今後想定されるリスクや最新の外国為替市況についてまとめ、関係部署への迅速な情報共有も行っています。

### 現在の業務の魅力・やりがい

世界の動向をいち早く関知し、通貨当局としての意思決定の場に立ち会えることです。

刻一刻と変化する為替相場等マーケットの動きは、今この瞬間に世界で起こっているあら

ゆる事象に影響を受けます。

各国の経済指標や国際会議、中央銀行の金融政策決定会合、地政学的リスクや予測不可能な自然災害・新型感染症、そして、各国首相や大統領といった要人等の発言まで、様々な要因がマーケットを動かしています。

そのため為替市場課には、いち早く情報を収集し、迅速な対応を可能とする環境が整えられています。瞬時に更新される報道やリアルタイムに動く為替相場に触れ、時には、第一線で活躍するエコノミストの方々から意見を伺いながら世界の生の動きを体感しています。

これまで個々で見ていた事柄を包括的に見ることができるのも、相場係のやりがいであり、魅力だと感じています。

### 国際局概要

#### ●国際通貨政策

外国為替市場、内外資金フローの把握・分析や外貨準備の管理等により外国為替制度の運営に当たっているほか、G7、G20、国際通貨基金(IMF)関連の各種国際会議を通じて、国際金融システムの安定に向けた制度強化に関する国際的な取り組みに参画しています。また、チェンマイ・イニシアティブやアジア債券市場イニシアティブ等の取り組みを通じて、通貨危機の予防・対処の枠組みの発展に向けたアジア地域内における地域金融協力に取り組んでいます。このほか、テロ資金供与対策や大量破壊兵器の拡散防止への資金支援などを通じた、国際金融システムの濫用の防止にも取り組んでいます。

#### ●開発援助政策

政府開発援助(ODA)の効率的・戦略的な活用、円借款、国際協力銀行、国際開発金融機関(MDBs)を通じた支援の実施、地球環境問題、債務問題への取り組み等、開発途上国の経済・社会の安定的な発展を実現するための国際協力を推進しています。

## 大臣官房

大臣官房政策金融課  
政策金融第二係長  
中川 忠明 [平成24年入省]  
NAKAGAWA Tadaaki

このため、様々な関係者とのバランス調整が必要となりますが、裏を返せば様々な角度から物事を分析し、解決していく力を身につけることができ、自身の成長に繋がることと思います。

### 大臣官房(政策金融)の魅力・やりがい

大臣官房は、財務省の内部管理、行政事務の総合調整を担当しており、政策金融課もその中の1つです。

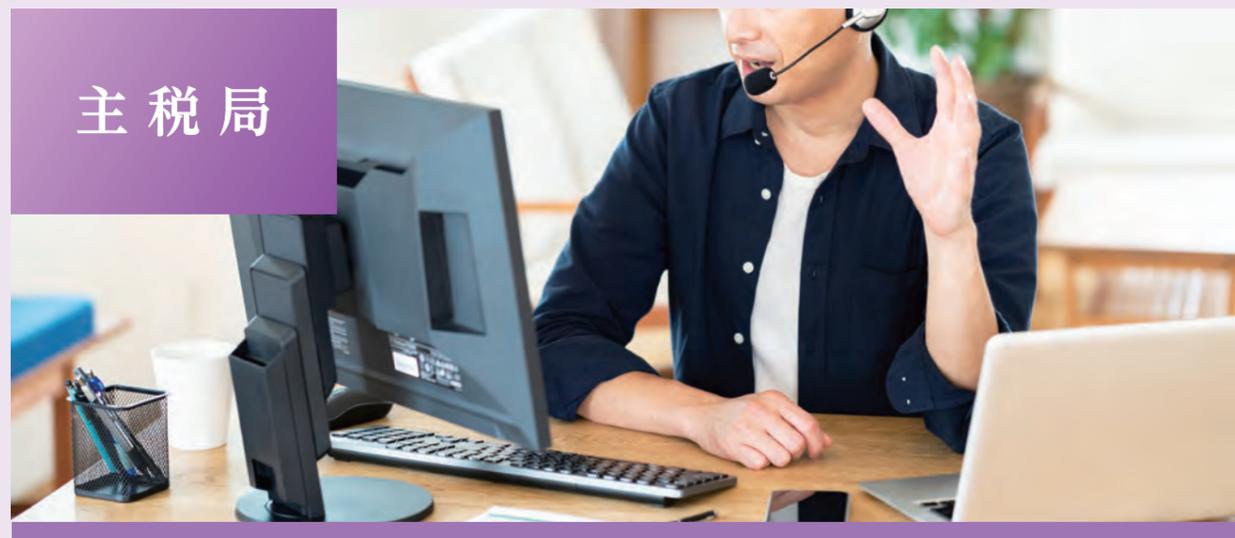
例えば、政策金融は、財政と金融の双方の世界でバランスを取ることが必要です。そのため、予算・財政投融资のほか、金融監督・検査に関する業務に携わることができます。また、財務省だけでなく、内閣府、厚生労働省、農林水産省、経済産業省といった各省庁の政策に関する領域にまたがっており、各省庁の政策領域についても幅広く触れることができます。私が実際に

取り扱った範囲では、中小企業政策(創業から事業再生まで)もあれば、農林水産政策もあり、また教育支援や年金・共済制度に係る領域もありました。

このように、予算などの財政等の各分野に特化せず、金融なども含めた幅広い政策分野に接して知見を広げてみたい方、それぞれの政策分野にわたる調整や情報の分析を行いたい方には、大臣官房での業務は、非常に魅力的でやりがいを感じられるものと思います。



## 主税局



主税局は、総務課、調査課、税制第一課、税制第二課及び税制第三課の五つの課と、参事官室からなり、局長以下約190名の職員が、より良い税制を作るべく、税制の企画・立案、税制改正法案の作成や国会対応等に日々奮闘しています。税制は税務行政とも密接に関連することから、職員の7割弱を国税局や税務署出身の職員が占めているのが主税局の特徴です。

総務課では租税政策全般に関する企画・立案・租税収入の見積もり等、調査課では内国・外国税制の調査等、税制第一課では所得税・相続税等及び税務手続きに関する制度等の企画・立案、税制第二課では消費税及び酒税等の個別間接税に関する制度の企画・立案、税制第三課では法人税に関する

制度の企画・立案、参事官室では外国との租税に関する協定の企画・立案をそれぞれ担当しています。

経済社会の構造は常に変化を続けており、税制も不断の見直しが求められます。主税局では、経済社会の変化や国際情勢を踏まえてどのような見直しが必要か、例年秋から冬にかけて集中的に検討を行い、翌年の通常国会での税制改正法案の成立を目指します。主税局として近年取り組んでいる課題は、働き方の多様化の進展等に対応した所得税の見直し、経済のグローバル化やデジタル化等に伴う国際課税のルールの見直し等、多岐にわたります。

## 国民生活を「円滑な金融」で実現する

### 現在の業務内容

日本政策金融公庫や沖縄振興開発金融公庫という金融機関を聞いたことはありませんか？

政策金融課は、政府系金融機関等を通して、公益性が高いものの、民間金融機関のみでは十分な対応ができない分野(リスクの適切な評価が困難な場合等)において、金融的手法によって目的を達成する「政策金融」を所管しています。新型コロナウイルス感染症対策において、事業者等の皆様への資金繰り支援を担当している部署でもあります。

政策金融は、事業資金から教育ローンと、幅広い分野で活用されています。一方、金融である以上、その事業の将来性等を見極めた規律ある支援が必要であり、また、公共性をもつ政策手段である以上、民間金融機関の活動を圧迫することは避けなければなりません。

### 大臣官房概要

【財務省の内部管理と行政事務の総合調整役】 具体的には以下のような業務があります。

- 秘書課: 職員の人事・給与等
- 文書課: 国会窓口、機構・定員管理、広報等
- 会計課: 財務省の予算、庁舎管理等
- 地方課: 財務局との連絡・調整等
- 総合政策課: 経済情勢の調査・分析等
- 政策金融課: 政府系金融機関の監督等
- 信用機構課: 預金保険機構の監督等

## 関税局



税関は、我が国の経済・社会秩序を維持するため、覚醒剤等の不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の密輸取締り、輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収等を行う行政機関です。

関税局は、この税関の司令塔としての機能を有する組織であり、税関行政に関する様々な政策や制度の企画・立案等を担当しています。具体的には、不正薬物や銃砲、知的財産侵害物品等の取締方針や制度の策定、警察等の関係機関や関係業界との連携や、IT化の推進等を行っています。

また、関税局は税関・通商分野での国際交渉や国際協力を担う機能も有しています。例えば、世界各国との経済連携協定交渉を始め、WTO(世界貿易

機関)やWCO(世界税関機構)等における国際ルール作りへの貢献、外国税関との連携強化を目的とした相互支援協定の締結、途上国税関に対する制度・人材育成の支援等、国際貿易の促進や日系企業の海外進出を後押ししています。

さらに、関税局・税関では貿易統計を発表しており、我が国の重要な経済指標の一つとして国内外で活用されています。このように、関税局は国民生活に直結する政策に従事するとともに、執行機関である税関との関わりが深い組織であることが特徴として挙げられます。

## 入省後のキャリアパス

### 入省後からはじまる係員時代について ～スペシャリストまでの道のり～

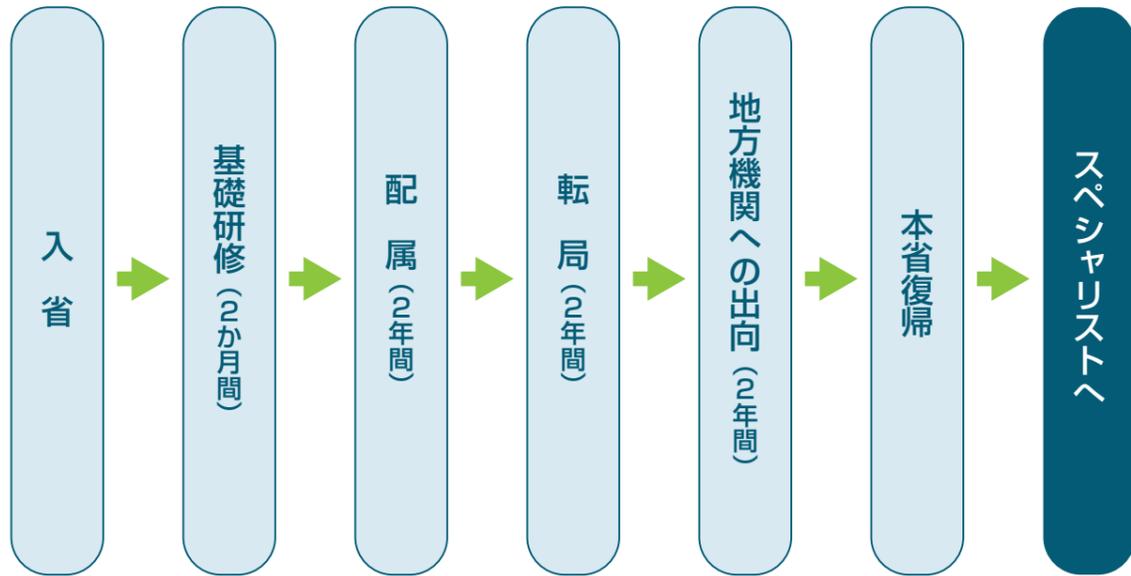
一般職試験を経て採用となった職員については、財務省の所掌する幅広い行政分野のうち、特定分野の専門性を有するスペシャリストとしての活躍が期待されます。

採用後数年間は本省内部部局において様々な経験を積み、自分の希望職種や適性を見つけていくこととなります。その後、地方支分部局(財務局、税関)へ出向し現場勤務の経験を経て、本省に戻ってきた段階で、希望や適性に基づき自身の専門分野が定まるのが一般的で

す。その後は、特定の部局で専門性を高めていくこととなります。

また、希望次第では、国際機関への派遣や業務上関連のある他省庁への出向の機会等もあります。

さらに財務省においてはこれまでⅡ種、Ⅲ種職員の幹部登用を進めてきており、一般職試験からの採用者も、能力と実績次第では本省・地方支分部局の幹部職員として活躍することが期待されています。



### キャリアパス



※上記のキャリアパスはモデルケースとなります。

# Message

先輩職員のこれまでの歩み

### 今までの行政官人生についての振り返りと今後について

平成8年度の採用以降、財務本省や地方財務局での勤務以外にも多くの経験の機会がありました。大学院留学ではメーカーや金融業、起業家の方々と共に研究活動に切磋琢磨したこと、日本銀行では本支店を通じた全国の通貨の需給調整に絶えず注視する日々を送ったこと、江東区役所では初めて多くの部下を持つ管理職として地元商店街へのキャッシュレス機器の導入促進策や地域ブランドの振興等に駆け回ったことや緊張感溢れる区議会委員会での答弁など、その経験の全てが今の自分に確実に活かされていることを実感しています。

勿論、時には難しい問題に直面したこともありましたが、どの立場にあっても、より良い社会づくりに貢献したいとの思いで、周囲の方々の支えもあって常に前を向いて楽しみながら取り組むことができました。

今後とも、偶然に巡り合うこととなった人と人との繋がりに感謝しながら、目の前にある課題解決に向け、チーム一丸となって着実に前進させていきたいと考えています。

### 学生に向けてのメッセージ

財務省は、財政、税制、財政投融资や国有財産等、幅広い業務を担っていますが、業務上取り扱う課題はどれもスケールが大きく各人が責任を持ってその一翼を担うことが期待されており、これは、財務省で働く醍醐味の一つといえます。



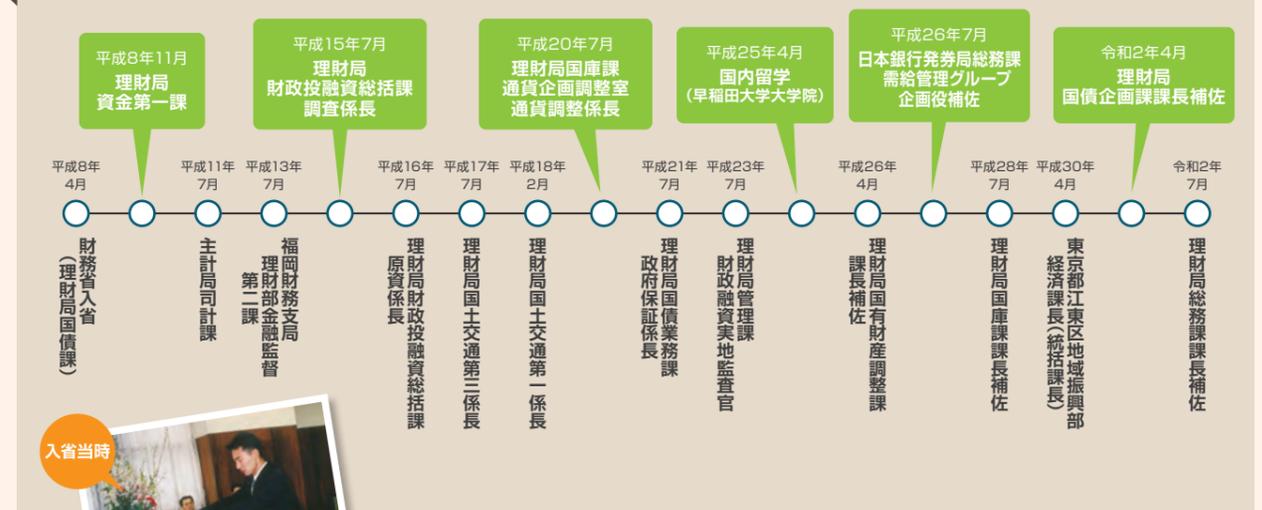
理財局総務課課長補佐  
桐越 智哉 [平成8年入省]  
KIRIKOSHI Tomoya

職員間においては、日々、制度や社会の本来のあるべき姿・未来を追い求め、議論を戦わせており、新人職員であっても自分の考えをしっかりと持ち意見を主張することで、自己成長へと結びつけられる機会があります。

昨今は、社会経済環境の変化が激しいため、先輩方が育ててきた良き文化を大切に守りながら、新しい時代の要請に、確実に迅速に適応して

いく必要があります。このため、柔軟な発想や確かな創造力を有する若者の皆さんへの期待は今まで以上に高まっていくものと感じています。是非、財務省の扉をたたき、財務省職員としての誇りを胸に、未来を担う子ども達に明るい夢や希望を抱ける理想の社会の実現に向けて、共に更なる一歩を踏み出していきたいと思います。

### 桐越智哉 課長補佐の略歴



入省当時

# 若手職員の業務紹介

一般職試験を経て入省した場合、入省後しばらくは、簡単な資料の作成やコピーなどの雑用ばかりを行う。このパンフレットを手にとった皆さんの中には、そう思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかしながら、例えば、予算の担当の場合、若手職員でも、とある予算の担当者として、予算額決定の前提となる情報の収集や予算額の資料などの作成を行うことになり。また、例えば、持ち前の語学力を更に磨き、若手職員のうちから、海外

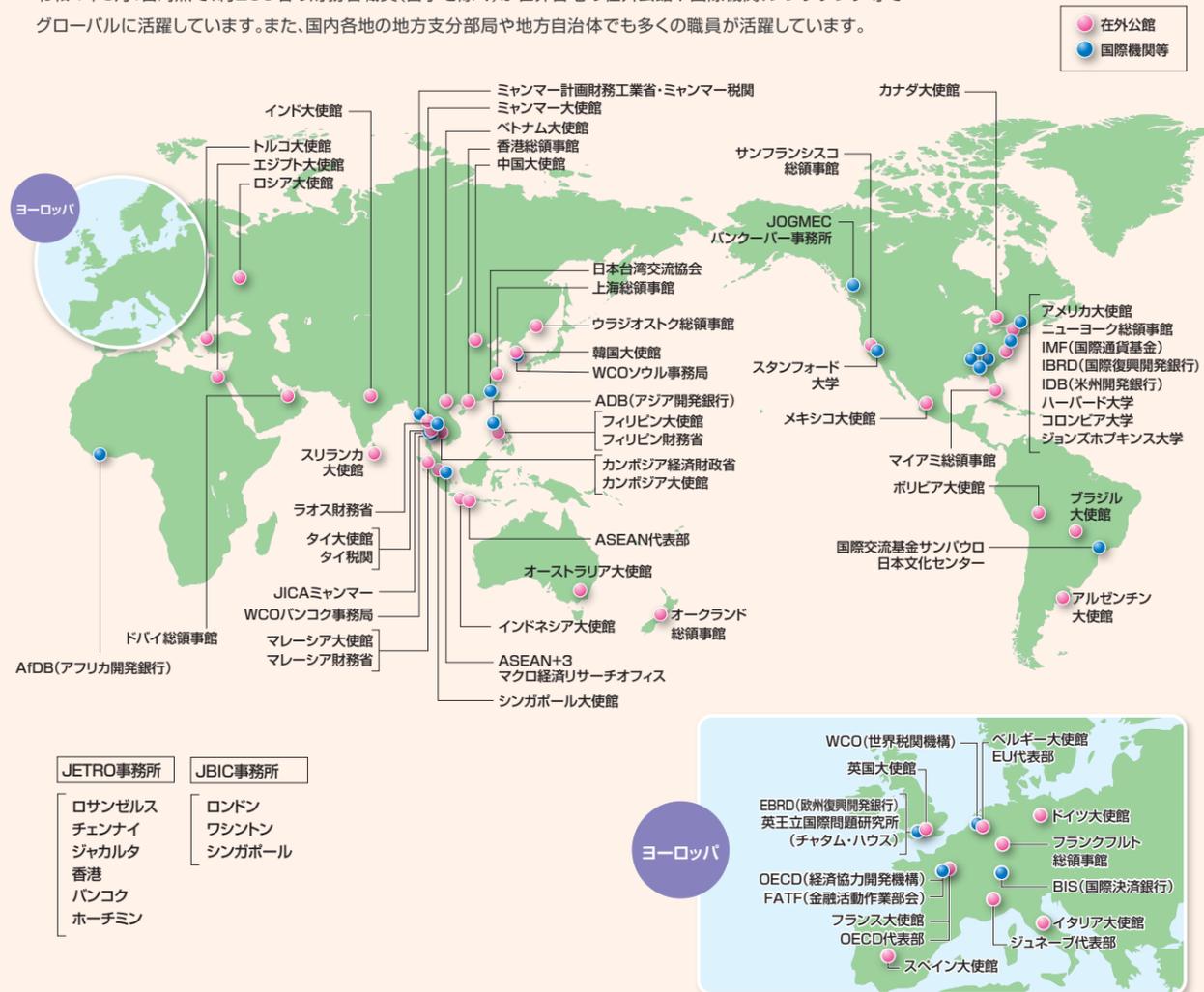
の機関へ出向し、グローバルに活躍している職員もいます。それだけに責任やプレッシャーも大きく、入省後は必要な知識の習得のための努力を続けていくことが必要となりますが、その分、自身の能力を高めることができるフィールドは、無数にあります。また、どの仕事をとっても、国を支える土台となる業務ばかりであり、国の最前線で働いていることを実感できます。

## 例えば、若手職員のうちから、こんなことを行っています

 <p>中小・小規模事業者の資金繰り支援のため、政府系金融機関の融資制度を策定</p>	 <p>国際的なワクチン開発等に係る予算を担当し、ワクチンの早期臨床開発等を支援することで日本の国際貢献に携わる</p>	 <p>国債の発行にあたり、証券会社等の債券市場関係者へのヒアリングや、国債の入札手続きに係る業務に従事</p>	 <p>G7・G20や国際金融機関等が主催する国際会議に向けて、日本政府の方針策定に携わる</p>
--	---	---	--

# 財務省職員の活躍するフィールド

令和4年3月1日時点で、約200名の財務省職員(留学を除く)が世界各地の在外公館や国際機関、シンクタンク等でグローバルに活躍しています。また、国内各地の地方支分部局や地方自治体でも多くの職員が活躍しています。



## 予算編成業務

主計局文部科学第二係  
**西山 直希** [令和元年入省]  
NISHIYAMA Naoki

成業務を行うこともあります。なお、予算は成立した後、使用(執行)されることとなりますが、一部の予算は支出にあたる協議として内容を確認したり、場合によっては、予算の執行状況を調査することで、予算が適切に執行されているかの確認業務も行っています。

## これまで印象に残っている業務

主計局では係長と係員が、それぞれ別の予算を分担して担当します。予算編成においては、査定の方針性は上司に相談しますが、事前に事業概要から詳細な積算まで全て目を通し、疑義等があれば自分で相手省に確認を行う必要があります。自分の理解度や、上司への説明の仕方が予算措置の配分を大きく左右するため、責任感を持って勉強する必要があります。例えば、今年、担当した教科書関係予算においては、GIGAスクール構想による生徒1人に1台の端末整備を踏まえた、令和6年度のデジタル教科書の本格導入に向けて、どのような準備や整理が必要なのか議論を行い、今後の教育におけるターニングポイントに携わることなどができ、とても良い経験をする事ができました。

# 一国民であり担当官でもあること

## 現在の業務内容

私は、主計局文部科学係において、初等中等教育等に関する予算を担当しています。年間のうち主な業務として、文部科学省から、関連施

策の予算の概算要求が提出されたのち、9月から12月にかけて、査定などの予算編成業務を行っています。また、予算は前年度に国会で成立したのち、予見できない事情等が生じた場合、当該年度中に予算を追加・変更する補正予算の編

# 国際機関への出向

## 現在の業務内容

私は現在、米国ワシントンD.C.にある国際通貨基金(IMF)の日本理事室に出向しています。理事室は、日々行われる理事会などを通じて日本の代表として意見を述べる役割を担っています。私はアシスタントとして、理事室内の各種調整業務及びIMFの年次総会の準備などを担当しています。コロナ禍での出向となり、ほぼ全ての職員が在宅で勤務している中で着任することに当初は不安を感じましたが、自分を含め各職員の在宅勤務体制が迅速に整えられており、IMFの環境対応力にとっても驚きました。現在では、オフィスへ出勤する回数も少し増えましたが、在宅勤務のスタッフ・オフィスに出勤するスタッフが円滑にコミュニケーションを取れるように、対面とオンライン形式を併用したハイブリット形式で会議が行われるなど、様々な工夫がされていると感じます。

持っていた「当たり前」ということについて、考え直す機会になりました。また、生活面において、初めての海外生活ということに加え、新型コロナウ

イルスの影響で隔離期間もあったため、生活の立ち上げに苦労しましたが、こうした特殊な環境下での海外赴任だからこそ視えてくることも多かったように感じています。この出向経験を通じて、少しでも視野を広げ、今後の業務に活かしていきたいと考えています。



## 国際機関に勤務

国際通貨基金日本理事室  
**菱川 彩香** [平成27年入省]  
HISHIKAWA Ayaka

## 海外赴任での気付きについて

国際機関には様々な国籍の方、バックグラウンドの方がおり、多くの気付きがありました。例えば、研修一つを取っても、様々な文化の方に配慮して研修動画が作成されており、今まで自分が

# 財務省の研修制度

財務省に入省するためには、法律や経済学の知識などが不可欠、そのように思われている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。確かに、財務省職員は多種多様な業務に携わっており、そこで向き合う課題の解決には様々な知識や経験が必要となってきます。

しかし、誰もが入省当初から、それらの課題に、一人または確実に対応できる力を持っているわけではありません。財務省においては、公務員・財務

省職員として必要な知識を習得するための新入省者研修、語学研修などの業務を行う上での基礎力を高める研修、役職や政策分野別などそれぞれの時勢・役割に応じた研修など、様々な研修を実施しており、実務で得る知識や経験に加え、課題への対応力をより一層向上させるための仕組みがあります。

## 基礎研修について

新規採用された職員は、西ヶ原(東京都)の研修合同庁舎にて、全国の財務局に新規に採用された職員と共同生活を送りながら、約2か月間の合同研修(全寮制)を行います。この研修では、国家公務員としての基礎知識や財務省職員として必要な専門知識等を習得することだけでなく、共同生活を通じて研修生間の連帯感を培うとともに、集団内の個人の立場や役割を学んでいただけます。



西ヶ原  
研修合同庁舎  
(東京都)

## 各種研修・自己啓発について

職場に配属された後も、役職・業務に応じた研修や、自己啓発意欲を高め、業務に関連する知識や技能を習得するための研修等、安心して業務に取り組めるよう、充実したサポート体制が整っています。

### 役職・業務に応じた研修

**係員** 各職場において実務研修を実施。基本的な法律や事務の流れ等、実務上必要な基礎知識を補う。

**係長** 政策に関する知識を深め専門性の向上を目的とした実務研修や、コミュニケーションスキル等指導者としての能力を高める研修を実施。

**課長補佐** マネジメント等管理職員に求められる能力及び資質を高める研修を実施。

これらのほか、渉外事務に従事する職員に、個人の会話能力に応じたレベル別の語学研修や英文によるビジネス文章の書き方を習得するための語学研修等を実施。

### 自己啓発

職員の能力開発と業務遂行能力の一層の向上を目的として、学習意欲のある職員に、ファイナンシャル・プランニング技能検定や簿記検定等、各資格試験等の受験をサポートする研修を実施。(通信研修)

## 基礎研修を受講して

基礎研修では、財務省の職員として業務を行ううえで必要な専門的知識はもちろん、ビジネスマナーやメンタルヘルス、国家公務員の倫理など、社会人・公務員として働くための基礎となる講義もあります。また、ロールプレイングやグループワーク形式での実践的な講習も行われます。

私が基礎研修を受講した際は、約2か月間、全国各地の財務専門官採用者と研修所での合宿形式の研修を行いました。長い共同生活は初めての経験でしたが、財務省本省の同期だけでなく、一緒に研修を受講した各財務局の同期ともすぐに打ち解けることができましたし、また、施設も整っており合宿を送るうえでも、快適に過ごすことができました。

私は現在、採用から4年目となりましたが、各財務局から本省に出向してくる同期もあり、仕事上は勿論のこと、終業後のプライベートな時間でも交流があるなど、研修から時間が経った今でも、同期は大切な存在です。

また、基礎研修が終わって職場に配属された後



### 基礎研修

大臣官房秘書課総務係  
児玉 啓晃 [令和元年入省]  
KODAMA Hiroaki

も、携わる業務に応じて多くの研修が用意されており、実際に私も毎年様々な研修を受講しています。財務省には専門的な業務も多いですが、基礎研修をはじめとした充実した研修により、日々、知識の理解を深めることができます。

(注:新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度、3年度については、研修所における合宿形式の研修ではなく、各職場または自宅からのオンライン形式で実施。)

## 語学研修を受講して



### 語学研修

理財局国債企画課  
政策情報室調査係  
櫻井 柚香 [令和2年入省]  
SAKURAI Yuka

採用前から「いつかは国際的な仕事や海外勤務にも挑戦してみたい」と考えており、その将来に向けて、英語力をもっと高めたいと思い語学研修を受講しました。

財務省ではビジネス英会話をはじめ、様々な語学研修が用意されていますが、その中で、私はライティングの研修を受講し、主に英語のビジネスメールの書き方を学びました。現在担当している理財局の業務においては、海外当局や国際機関とメールのやりとりをする機会も多いのですが、例えば、最近増加している海外とのオンライン会議の際のアポイントの取り方や日程調整で使える英語表現を覚えることができました。このように研修で得たライティングの知識を日々の業務に活かすことができていることは、業務へのモチベーションアップに確実に繋がっています。また、研修を受講し、業務の幅を広げるために語学が重要であることを改めて実感し、今後も積極的に研修制度を活用しながら語学等の勉強を続けていきたいと考えています。

このように、入省後も自分の目標に合わせてスキルアップできる環境が整っている点は、財務省の魅力の一つだと思いますので、皆様にもぜひ活用していただきたいと思っています。

# ワークライフバランス

財務省における女性職員の割合は増加してきており、今後は、その活躍を図るための積極的な対応が求められます。また、こうした女性職員の活躍の視点に加え、優秀な人材の確保、心身の健康の維持、広い視野に立った政策立案、

次世代の社会を担う子どもの育成環境の整備を可能にするためには、男女を問わず職員全体について、仕事の質と能率性の向上、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を確保できる働き方を実現していく必要があります。

## 育児関係

### 妊娠～出産まで

- 妊娠中：通勤ラッシュを避けて登庁できる**通勤緩和・業務軽減等**、妊娠中の女性職員の負担を減らす制度があります。
- 出産時：**産前休暇**(産前6週間前)、**産後休暇**(出産の翌日から8週間)が与えられます。
- 出産後：子どもが3歳に達するまでの間、**育児休業**を取得できます。



男性職員も育児関係の休暇が取得可能

妻の出産に付添うための「配偶者出産休暇」や、妻の産前産後休暇期間中に「育児参加のための休暇」を取得することができます。また、育児休業を取得する男性職員もいます。

### 復職後

仕事と育児を両立するため、勤務時間を短縮できる制度があります。(※男女ともに取得可能)

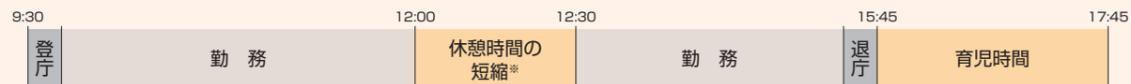
- **育児短時間勤務**：子どもが小学校に入学するまで、勤務時間を短縮できる制度
- **育児時間**：子どもが小学校に入学するまで、1日につき2時間以内で勤務しないことを認める制度



その他の支援制度も充実

上記以外にも**保育時間**(子どもが1歳になるまで授乳や託児所等への送迎のため与えられる休暇)や、**子の看護休暇**があります。

復職後の勤務時間の例／大臣官房秘書課 Aさんの場合



※休憩時間の短縮…妊娠中・子どもが小学校に入学するまでの間や小学生の子どもの送り迎え・家族の介護をする場合、休憩時間を短縮することを認める制度。

## 介護関係

配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等の介護を行う職員が取得可能な制度があります。

- **短期介護休暇**：年5日(要介護者が2人以上の場合は年10日)
- **介護休暇**：通算して6か月の期間内において、必要と認められる期間
- **介護時間**：連続する3年の期間内において1日につき2時間以内

## その他

- **配偶者同行休業**(外国で勤務等をする配偶者と生活をともにするための休業制度)
- **年次休暇・夏季休暇・結婚休暇・忌引休暇**等

**時間と場所にとらわれない働き方** ※一定の条件を満たすことにより、以下の制度を利用できます。

- **テレワーク**(在宅勤務)
- **フレックスタイム制**(職員が自身の勤務時間を割り振ることができる制度)



### テレワーク

大臣官房政策金融課  
政策金融第二係  
**和田 尚馬** [平成30年入省]  
WADA Shoma

## テレワーク導入後の変化

テレワークが業務スタイルの選択肢として加わってから、これまでより自由な働き方が可能になりました。自宅に居ながら仕事ができるた

め、休憩時間の合間で家事を行ったり、自宅近くのお気に入りの飲食店に立ち寄りランチを取ったりすることも可能となりました。加えて、

通勤に要していた時間がなくなったため、起床後や業務後の自由な時間も増え、趣味に十分な時間を充てられるようになったことが何より嬉しいです(笑)。ほかにも、休日と祝日の間に営業日がある場合などは、実家に帰省してテレワークを活用される方もいらっしゃいます。

業務面について、1人の環境で集中して仕事を行えるため、まず資料作成などはむしろオフィスよりも効率よく行うことができる場合もあります。また、テレワークの本格的な導入前は、上司や同僚たちとコミュニケーションが取りづらくなるのではないかと懸念もありましたが、Microsoft Teams等のオンラインのツールを活用することで滞りなくコミュニケーションが取れています。なお、最近では、サテライトオフィスを試行するなど、テレワーク環境の充実を図るための取り組みもなされており、より「自由な働き方」の選択肢が広がっていくものと思います。

これからも、積極的にテレワークを活用し、ワークライフバランスの充実に努めていきたいです!

## 育児休業

### 育児休業を取得して得られたものや良かったこと

会計センター管理運用部  
会計事務専門官  
**岩崎 健一** [平成22年入省]  
IWASAKI Kenichi

私たちは、同じ財務省職員として結婚し、子育てをしています。仕事をしながらの子育てだと平日にどうしても子どもと触れ合う時間が限られてしまいます。このため、休日に子どもとたくさん遊ぼうと思い抱っこをしたことがあったのですが、泣かれてしまい、結局は妻がやすことがあったなど、育児休業前は、逆に妻の仕事を増やしているという感じがしていました。

男性も育児休業を取得することで、子どもとの時間が非常に増え、子どもも私も慣れることによってたくさん触れ合うことができ、子どものちょっとした成長に気づくこともできるようになりました。また、妻にとっても、育児の負担が軽減されることになり、夫婦とも精神的にも身体的にも大変助かりました。

### 夫婦で育児休業を利用した感想

育児休業  
**山本(岩崎)あすか** [平成24年入省]  
YAMAMOTO Asuka

育児「休業」として仕事は休みとなりますが、育児は決して休める訳ではなく、逆に、小さな子どもの様子を見張っていなければならないため、親としては、常に気を張っている状態が続きます。この状態を一人で背負うのはとてもプレッシャーがあり、不安もあります。この点、夫

婦で育児休業を取得し、お互いに頼り合いながら、子どもと過ごせた時間は、かけがえのないものとなりました。

良い仕事をするには良いチームワークが必要だと思いますが、子育てにおいても夫婦の良いチームワークが必要だと改めて感じました。



### 省内保育所の設置

財務省でも女性職員の割合が増えており、育児と仕事の両立支援の重要性が一層増している中、多様な人材の活躍とワークライフバランス推進の取り組みの一環として、財務省本省庁舎1階のスペースを活用して保育所を設置し、令和2年4月に開所しました。

また、省内保育所の設置に限らず、女性職員のニーズを踏まえて女子・多目的トイレを増設する等、働きやすい職場環境の整備を進めています。



北海道財務局  
理財部統括金融証券検査官付  
片田 峻亮 [平成28年入省]  
KATADA Shunsuke

北海道財務局  
管財部統括国有財産管理官付  
杉 貴大 [平成28年入省]  
SUGI Takahiro

## 出向者対談 SPECIAL INTERVIEW

### Q.はじめに

**片田:**私たちは現在、財務省(以下「本省」という)の地方支分部局である北海道財務局に出向しています。私は、令和2年7月から出向しており北海道2年目、杉は令和3年7月から出向しており北海道1年目です。これから、私たちが出向で感じたことなどについて、ざっくばらんに紹介します。

それにしても、同期で同じタイミングに同じ場所へ出向になるとは思わなかったよね。

**杉:**本省で勤務している時は、一度も同じ局で働くことができなかったから、まさか北海道で一緒になるなんて夢にも思っていなかったよ。でも、片田がいてくれて本当に良かった。片田も経験したと思うけど、初めて尽くしてワクワクな反面、やっぱり仕事も環境もかなり違って不安な部分も大きかったから、知り合いを紹介してくれたとか、人を繋ぎ合わせてくれたり、業務のあれこれを伝えてくれたりして、初めて片田が頼もしく思えたよ。(笑)

**片田:**そう言っていただき光栄です。(笑)

### Q.現在の担当業務について

**杉:**じゃあ、まずは北海道財務局で担当している

業務について紹介していこうか。



**片田:**私は現在、理財部統括金融証券検査官兼金融監督第二課に所属しており、北海道の地域金融機関の健全かつ適切な業務運営状況について、監督業務を行っています。具体的には、金融機関から提出される各種報告の確認、財務データの分析、ヒアリングを通じた業務運営状況の把握等の様々な手法により金融機関をモニタリングし、経営陣との対話を重ねて課題を解消しています。

**杉:**財務局は財務省の地方支分部局でありながら、金融庁からの業務委任を受けて金融行政も担っているんだよね。1つの機関に2つの組織の業務が併存しているのは、財務局ならではの、面白いね。

私は管財部第二統括国有財産管理官に所属しており、国有財産の管理処分業務を行っています。

具体的には、例えば、公務員が勤務する庁舎などの行政目的で使用している国有財産が「行政財産」、それ以外の国有財産が「普通財産」と区別されている中で、私は普通財産を担当しており、地方自治体から個人の方まで様々な方に対して、国有地の売却や貸付け等を行っています。

**片田:**私も昨年は管財部で仕事をしていただけ、1つの国有地の取引をとっても、現地確認から契約書の締結までやることが多くて時間がかかるよね。それに、登記や土地の評価では不動産業務の知識も使うから、慣れるまで結構大変じゃない?

**杉:**少しずつだけど、ようやく知識も付いてきて慣れてきたかな。地域のニーズに合った有効活用を図りながら、売却や貸付け等を積極的に行うことで、微力ながらも国の財政に貢献できるように、頑張ろうと思っているよ。

### Q.本省と地方支分部局の違い (実際に働いてみて感じたこと)

**杉:**片田は、北海道財務局で管財部と理財部の2部局の勤務を経験しているけど、本省との違いをどう感じた?

**片田:**職員の多くが北海道出身の同郷であることや、同じ部局で担当する期間が長いことも

あって、様々な採用形態の職員で構成されている本省よりも職員同士のつながりが強いと感じたかな。

それと、本局以外にも管轄する都道府県(北海道は主要地区)に事務所があって、各事務所への転動もあるから、同じ建物内の異動がほとんどの本省に比べて、引越等が大変そうだなと。



**杉:**特に北海道は大きいから、北海道内での異動も単身赴任になったりするし、大変そうだね。私が感じた一番のギャップは「仕事の相手」かな。今まで本省で勤務していた時は、公務員同士で仕事をするのが多かったから、財務局で、民間企業や地域の方など様々な方と直接しながら仕事をしていると、「本省で(公務員として)やってきたことが当たり前なことじゃなかったのか」と思うことが多々あって、その度に自分の視野が狭かったことに気づかされるな。

財務局での仕事の多くは、相手の方が、我々、財務局側の事情や仕事の進め方などを当然に知りえないこともあって、様々な角度から質問をされるけど、それに答えるためには、今まで以上に、どのような質問をされるか事前に多くの想定をしておく必要があって、かつ、分かり易く趣旨に沿った説明をしないといけないから、本省とは違った難しさを感じると同時に、自分の準備力のなさも痛感しているよ。でも、さっきの気づきもそうだけど、様々な質問に反応していくことで、間違いなく視野が広がっていて、すごく良い経験ができていると思っているよ。

### Q.出向してよかったことや考えるようになったこと、今後の展望について

**片田:**他にも出向してよかったことや考えるようになったことはある?

**杉:**経験が長くなればなるほど当然求められることが多くなっていくから、求められることに対して臨機応変に応えられるような「幅」を持ちたいと考えるようになったことかな。

今まで経験したことのない業務を積極的に経験していくことはもちろんだけど、一般の方などに対して、正確で分かり易い説明を求められることが多くあるなど、財務局での経験は行政の現場でのみ経験できることなので、今後の公務員人生において得難い経験になるものだと思う。

**片田:**そうだね。私も、本省と全く異なる業務に携われたことで、自分に向いている業務や今後やりたいことのヒントを得た気がする。

これまでと仕事の性質や環境が異なる財務局の現場での業務を経験して、多くのことを学んだのはもちろんのこと、政策を企画・立案する本省とそれを実行する財務局の双方の立場で考えるようになってきたかな。

財務局で働いてみて、本省の指示やその目的が、財務局に十分に伝わらないまま行われている業務も少なからずあるように感じていて、それゆえに余計な業務に気づけていないことや主体的に取り組めない業務があると思うんだ。業務の目的を丁寧に説明(本省側)し、十分に理解(財務局側)することで、円滑かつ相乗効果を伴った仕事につながると気づき、双方の立場で考えることの大切さを再認識できたよ。

**杉:**この先、自分たちが本省のどの局でどんな仕事をするかは分からないけど、どのポジションになっても、任せられた場所で求められることに応えられるように、お互い精進していこう!

### Q.週末・プライベートの過ごし方

**杉:**北海道の先輩、片田さんはどんなプライベートをお過ごしですか?!

**片田:**北海道財務局では、定時退庁できることも多く、ジムやサウナという新たな趣味を見つ

けることができたよ。また、週末は北海道で購入した初のマイカーに乗って、道内を旅行しているよ。ゴルフ場やスキー場が東京ではあり得ない近さにあるから、夏はゴルフ、冬はスノーボードが気軽にできるのも嬉しいよね!

**杉:**確かに、本省に比べて、終業後の時間は比較的多く取れるから、自身の興味のある勉強をしたり、これまでになかった趣味を見つけたりすることができるよね。私も片田に影響されて、ジムとサウナをデビューさせてもらいました。(笑)北海道でしかできないこと、食べられないもの、行けないところ、をできる限りやりたいと思っているけど、なんだかんだ毎月、片田と遊んでいる気がするな。いつも片田さんのマイカーにはお世話になってます。(笑)

よく飲み会に行くのはもちろんだけど、雪合戦やったりしたとか、東京にいる時よりも仲良くなったよね。(笑)

**片田:**そうだね。最近の状況ではあまり旅行に行くのも難しいけど楽しもう!

**杉:**2人で「アナザースカイ」作ろうぜ。



### Q.財務省を志望する方へのメッセージ

**片田:**最後に財務省を志望する方へのメッセージをお願いします!

**杉:**本省から離れて働いている今、財務局でしか経験できないこともたくさんありますが、改めて財務省の職務環境が素晴らしいことも実感しています。

スケールの大きな仕事を、スピード感を意識しながら正確にこなしていく、こんな難しい事を、当たり前のようにできる職員がたくさんいる組織は中々ないと思いますし、一方で、置いてけぼりにならないように上司や同僚がきちんとサポートもしてくれるので、一社会人としてとても成長することができる最高の環境だと思っています。なので、ぜひ財務省で一緒に仕事をして、一緒に成長しましょう!

**片田:**財務省ならではの仕事、本省で働くことの魅力は多々ありますが、時には外部の組織からこれまでの仕事を振り返ることで、組織の良さや新たな自分を発見できると思います。本省自体の魅力語ることは他の紙面に譲りますが、出向という形でこれまでとは違う業務環境で働く機会を得られるのも、財務省で働く魅力の一つです。ぜひ財務省と一緒に働きましょう!



大臣官房文書課  
国会連絡室  
山上 孝祐 [平成29年入省]  
YAMAGAMI Kosuke

国際局為替市場課  
国際収支第二係  
山本 都 [平成29年入省]  
YAMAMOTO Aya

理財局国庫課  
通貨企画調整室通貨総括係  
金原 和歩 [平成29年入省]  
KINPARA Kazuho

# 同期対談 SPECIAL INTERVIEW

## Q.現在の担当業務について

**山上:**私は行政府である財務省と、立法府である国会との連絡調整を中心に、日々、関係各所へ足を運び国会運営に関係する情報を収集し、その情報を財務省と繋ぐ役割を担っています。そのため、執務室も本省ではなく国会議事室内にあり、財務省の中で一番国会との距離が近い部署だと思います。一般の方が、普段生活をする中で国会に触れる機会というと、国会審議の一部をニュースで見るとは多いかもしれませんが、その裏では多くの方が動いていることを日々実感しています。国会での出来事は、財務省の業務運営の方針の基として、世の中に大きな影響を及ぼすことになる場合もあるため、常に緊張感を持って業務を行っています。二人はどんな業務をしていますか？



**金原:**僕は皆さんが毎日のように使っている貨

幣の製造に要する費用の予算要求が主な業務です。キャッシュレス化の影響で以前より貨幣を使う機会が減ったかもしれませんが、新500円貨幣の発行などの話題もあり、貨幣もまだまだ現役です。予算要求においては、来年度造幣局において貨幣を製造するために必要な予算について、主計局の担当者と検討や議論を行っています。

**山本:**私は証券売買についての統計の作成・公表と、省令に基づき金融機関等から報告された書類の分析を行っています。私たちの生活に近いところでは、投資信託や株式の売買が国内外でどうなっているのか(どこに需要があるのか、人気があるのか等)を見ることができ、債券市場や株式市場の動向、世界各国の情勢を以前よりも注視するようになり、新聞や経済記事を見ることが面白くなりました。

## Q.入省から現在までで変わったこと・変わっていないこと

**金原:**入省してから1~2年は、「とにかく早く仕事に取り組んで終わらせないと!」という焦りや考えから、先輩や上司に不備を指摘されることが多くあって、結果的に時間がかかっていました。仕事を早く終わらせることは大切だと思



いますが、不備が多い仕事は最も良くないことだと反省し、今は確認を怠らず、疑問点がある場合はまず調べてから報告するようになりました。その結果、一つひとつの業務にかかる時間は短くなり、全体として効率よく業務を進めることができるようになりました。なお、「ほうれんそう」を欠かさないと元気がよく挨拶・仕事をするなど、社会人としての基本は、入省1~2年目と変わらず、これからも大切なことだと思います。

**山本:**それは非常に共感できます。私の場合は、仕事のやり方や優先順位の付け方の判断に悩むことが多く、先輩の仕事ぶりを見様見真似でやっていたけれど、時が経つにつれて、感覚がつかめてきたのか、自分で作業スケジュールを考えたり、期限までに仕事を進めるために必要な資料や作業の洗い出しを逆算したりできるようになったので、「なぜこの業務があるのか?」等

に加え、後輩に刺激をもらう機会も増えたので、自分も受け身になるばかりでなく、入省時のように積極的に仕事をしていきたいという意識を忘れずに、今後も業務に取り組めたらいいなと思います!  
ちなみに二人はどんな展望を持っているの?



**山上:**今後は、これまで経験した業務を軸にさらに知識と経験を積み重ねていきたい。財務省の業務は多岐にわたるため、自分自身まだまだ知らないことが多くあると思うけど、その分吸収できることも多いので、併せて、人としての成長もしていきたいです。

**金原:**様々な部署の業務を経験させていただき、業務の幅だけでなく人脈も広がったので、社会人としてゼロからスタートした僕を成長させてくださった恩返しとして、少しでも財務省の業務や組織運営に貢献し、ひいては、よりよい社会になってほしいという気持ちで、一生懸命に業務に取り組んでいきたい。もちろん社会人として未熟な部分はまだまだあるので、これから多くの知識を貪欲に習得して、今後の業務に活かしたい。そして入省時の志望動機を忘れず、国家公務員として働くという強い責任感を常に持って仕事をしていきたいです。

## Q.財務省を志望する方へのメッセージ

**山上:**僕たちも就職活動当時は、就職という人生の中で大きな決定をするにあたり、学生なが

らに真剣に考えていました。当時は、公務員ではない別の選択肢も視野に入れながら、試験勉強と並行して取り組んでいました。そのため、試験勉強に費やせる時間が少なくなる不安はありつつ公務員とは別の業界を知ることで得たものもありましたし、逆に、それらを踏まえて最終的に財務省で働くことを選んだ理由というのは、まずは、財務省の人に来てもらえれば少しは共感してもらえんと思います。皆さん、財務省という組織には色々なイメージを持たれていると思いますが、きっかけは何であれ、少しでも興味を持っていただけた方は是非一度説明会にも参加してもらえんと嬉しいです。

**金原:**社会人になれば、大学までの人生の倍以上の時間を働き、文字通り人生の大半を仕事に費やすこととなります。1年少々就職活動期間で、今後の人生を左右する重要な決定をすることは非常に難しいことだと思います。自分がした選択を後悔しないために、公務員試験の勉強も重要ですが、時間が許すのであれば、選択肢を自ら狭めず、様々な省庁・業界・職種を見てほしいと思います。就職活動期間は大変で辛いことも多いですが、その経験が、今の仕事をやるモチベーションにつながっています。みなさんも最後まで諦めずに頑張ってください。

**山本:**二人と同じように、私も当時は将来をどうするかとても悩みましたが、今でも就職活動は人生の中で大きなイベントだったと思い返すことがあるので、体調や精神面を労わりながら、時間の許す限り選択肢を広げてもらいつつ、納得のいく就職先を選べるように頑張ってください。そして、もしその中に、財務省が候補に上がれば嬉しいですし、仮にそれ以外の志望となった場合でも、パンフレットを手にとってくださった皆様にとって、最善の選択となることを心より祈っています。



の疑問をプラスで考えられるようになったところが変わったところだと思います。入省前から先輩たちに言われていた「仕事＝日々勉強」という点は、まさしくどの部局に行っても変わらないと毎日実感しています。

**山上:**業務の進め方を自分なりに考えられるようになったことは私も同じですね。入省当時は業務の優先順位を考えられる余裕がなく、目の前の業務をこなすことで精一杯でしたが、5年が経ち、そこは少し変わったかなと思います。逆に変わっていないことは、常にアンテナを張ること、よくコミュニケーションをとることであり、些細なことであってもそれが何か大きなことに発展することがあることを常に心がけ、私も「ほうれんそう」を大事に、些細な情報でも周りに共有するようにしています。他には、入省当初は周りの先輩や同僚に色々聞いていましたが、年を経て後輩ができたり業務を覚えたりすることで、周りから聞かれることも増えてくるという変化もあるかなと思います。

## Q.今後の展望について

**山本:**気付けば若手係員だった我々も中堅係員になり、係長の仕事を手伝ってもらえる機会が出て、業務の幅が広がった気がします。それに



理財局総務課管理係  
**百目鬼 里紗** [平成28年入省]  
DOMEKI Risa

理財局総務課文書係  
**田栗 雅也** [令和3年入省]  
TAGURI Masaya

# 先輩×後輩対談 SPECIAL INTERVIEW



主計局経済産業第三係長  
**津田 浩平** [平成19年入省]  
TSUDA Kohei

主計局経済産業第三係  
**横田 冴介** [平成30年入省]  
YOKOTA Sasuke

# 上司×部下対談 SPECIAL INTERVIEW

## Q.現在の担当業務について

**百目鬼**：私たちの所属する理財局総務課は、理財局全体の運営に関わる総括・調整業務を行っています。中でも田栗さんの担当業務を教えてください。

**田栗**：文書係という係の業務に携っており、局内の行政文書の管理や国会との窓口業務を行っています。特に国会関係の業務は、瞬発的に正確な対応が求められるため、同じ係の中での情報共有を徹底しています。

**百目鬼**：いつも国会対応やシステムの問い合わせなど、局内外を繋ぐ業務を次々とこなされていますね。なお、私の担当する管理係の業務には局の幹部のスケジュール管理があります。各幹部の限られた時間を効率よく使えるよう検討し、急用が発生しても影響が最小限で済むように関係者間の調整を行います。些細なことでも必ず確認し、関係先にすぐに情報共有することを意識しています。



## Q.理財局のやりがい・魅力について

**百目鬼**：業務の幅広さ、規模の大きさが魅力ではないでしょうか。普段の暮らしにも理財局の

業務が繋がっていて、よく知る公園や施設も実は国有地である場所も多く、国有部門でその運用・管理をしていたり、財布の中の紙幣・貨幣には国庫課が大きく関わっています。一方、昨年まで所属していた国債業務課では、毎週、兆円単位の国債を発行していました。国債の買い手は国内の金融機関や投資家のみならず海外の投資家もあり、グローバルな業務に携わることができました。

**田栗**：百目鬼さんと同じ内容になってしまいますが、業務の幅広さだと思います。業務を通して、常に発見や驚きがあります。特に「財政投融资」分野は、知れば知るほど国民の生活に深く結びついていることがよくわかります。最近の例では、高速道路の整備や都市再開発への財政投融资などでしょうか。

## Q.先輩からみた後輩の姿、後輩からみた先輩の姿について

**百目鬼**：田栗さんのいつも落ち着いた対応、丁寧な報告・連絡・相談を重ねている姿に刺激を受け、襟を正す思いです。文書係は突発的な業務が多く、休む暇がない時もしばしばありますが、そのような状況でも、忙しさを感じさせない業務対応にはいつも驚いています。また、仕事に慣れてきて、係内での助け合いや、円滑なコミュニケーションも増えてきたように感じています。

**田栗**：百目鬼さんも、まるで演奏会の指揮者のように、様々な仕事を同時にこなされていて、私も刺激を受けます(笑)



## Q.財務省を志望する方へのメッセージ

**百目鬼**：理財局の一部を紹介しましたが、財務省全体では私たちの知らない業務がまだまだあります。説明会等に参加し、実際に働く職員から話を聞いてみると、財務省のイメージが変わることもあると思いますので、是非、機会があれば参加してみてください。

**田栗**：財務省といったら予算編成、とイメージされる志望者の方が多いかと思いますが、いざ入省して仕事をしていくと、知らない業務が多くあります。興味のある方は、財務省ホームページをご覧になれば、驚きや新しい発見がきっと見つかると思います。(自分も、いまでも、よく財務省HPを見て、こんな業務があるのか、と驚いています。)

是非ご参考してみてください!

## Q.現在の担当業務について

**横田**：このパンフレットをお読み頂いている皆さんの中にも、アニメやゲームが好きという方は多くいらっしゃると思います。私の所属する経済産業第三係では、経済産業省予算のうち消費・流通、コンテンツ産業等に関する予算を担当しており、その中でも私は、日本のコンテンツの海外発信(例えば「ワンピース」や「ぶよぶよ」の外国語への吹替・翻訳など)の促進に関する予算を担当しています。予算係では、私のような若手係員でもこんなに多くの事を任される(決められる)のかと驚くことが多く、最初はどちらか良いか戸惑っていましたが、津田係長から「自分が払った税金がどう使われたら納得できるか考えてもらえ。」とアドバイスをいただき、自分なりに考え方を整理して、予算編成に臨むことができました。



**津田**：横田くんもたった半年で自分の担当予算をスラスラと説明できるようになったね。今年はコロナの影響でイレギュラーな対応もあって、主計局の中でも相当大変な担当だったと思うよ。

**横田**：担当予算については資料が粉々になるほど勉強しました!!

## Q.主計局のやりがい・魅力について

**津田**：予算編成のヤマとなる半年間を終えてみて、主計局のやりがいや魅力は見つかった?

**横田**：編成期はとても忙しくて大変だったので、冷凍食品(主にポロネーゼ)のやけ食いにしてしまいました(笑)。予算編成を終えて振り返ってみると、多くの担当予算について勉強し議論することを通して、その分野の専門的な理解が深まったことは勿論、施策のあり方自体についても深く考えるようになりました。特に今年はコロナが先行き不透明な中で、要求された予算を査定するだけでなく、今後の国の施策のあり方というより広い視点で、関係者と議論を重ねたことは貴重な経験でした。

**津田**：さっき横田くんが言った通り、社会人になって間もない係員であっても相当な裁量を与えられる職場で、勉強した成果を目前の予算査定に活かして、貴重な税金の使い道を決めていく仕事はなかなか無いかもしれないね。今回ポロネーゼで食への関心が高まったのなら、次は農林水産省の予算に携わってみるとか、環境の変化や時を経ることで興味・関心が変わることも少なくない中、異動を通して、様々な省庁の予算に関われる機会があるというのも主計局の魅力だと思うよ。

## Q.上司からみた部下の姿、部下からみた上司の姿について

**津田**：コロナの影響で例年よりも相当大変な予算編成になったけれど、横田くんは主計局に来たばかりなのに乗り切って、よく頑張ったね。当たり前のことを当たり前に出ることも、実は難しいけれど、

横田くんは忙しくて言われたことを言われた通りに見事にこなしてくれて、とても助かったよ。

**横田**：私から見た津田係長はとても心強い上司です。私が困っていれば手を差し伸べてくださるだけでなく、私の成長に繋がるように考え、関連業務のことも色々教えていただきました。主計局への異動を希望していた際には、業務外に時間を取っていただき、高級グルメ店で親身に相談に乗っていただきました。あの時のポロネーゼが一番美味しかったです。(笑)

## Q.財務省を志望する方へのメッセージ

**横田**：財務省の業務は多岐にわたっており、その中で主計局は各省庁の財布に関わる重要な役割を担っています。国をより良くするために、どのような政策に予算をつけるべきか日夜議論を交わしています。忙しい部署ではありますが、閑散期には休暇やテレワークを活用して十分に自分の時間をとることができ、メリハリのある働き方ができます。主計局の業務について興味があればぜひ説明会に足を運んでみてください!

**津田**：その通りだね。私も多くの方が主計局の業務に興味を持ってもらえれば嬉しいです。



# 係員の1日

## 【現在の業務内容】

私の所属する国庫課では、大きく分けて国庫制度と通貨制度という2つの制度を所管しています。前者の業務としては、国庫金の資金繰り(収入支出の調整)を行っています。後者の業務としては、貨幣・紙幣の製造計画の策定や偽造対策、造幣局・国立印刷局の監督等を行っています。また、近年では、社会のデジタル化の流れの中で、中央銀行が発行するデジタル通貨(CBDC)についても、通貨制度を所管する立場から、調査・検討や関係機関との意見交換を行っています。私は企画係で、課内各業務の調整及び課外との連絡業務を担っています。2021年度は、新500円貨幣の発行や造幣局・国立印刷局の150周年式典、日本銀行によるCBDC実証実験の開始など、注目を集める出来事が多く、国会への対応のほか、多数の外部からの問い合わせへの対応、関係機関との頻繁な連絡調整など、例年に比べ大変でしたが、その分やりがいのある1年でした。今回は普段の職場での1日について紹介します。

※CBDC:Central Bank Digital Currencyの略

理財局国庫課企画係  
丸山 史佳 [令和元年入省]  
MARUYAMA Fumika



# 係員の1週間

## 【現在の業務内容】

国際局の開発政策分野では、開発途上国における安定的な経済成長や貧困削減のため、国際協力銀行(JBIC)や国際協力機構(JICA)を通じた二国間の金融支援や、アジア開発銀行や世界銀行といった国際開発金融機関(MDBs)を通じた多国間の経済支援政策を行っています。私が所属する開発政策課は、財務省の開発政策のいわば司令塔的な立場として、質の高いインフラ投資や国際保健などの課題検討を推進しています。その中で、私は「経済協力費」と呼ばれる、開発政策を推進するために必要な政府開発援助(ODA)予算について、省内のとりまとめや、主計局への要求を担当しております。時期に応じて業務の内容は少し異なりますが、今回は主計局との予算折衝を行っている時期の私の職場の1週間をご紹介します。

国際局開発政策課予算係  
中島 悠人 [平成30年入省]  
NAKAJIMA Yuto



**START**  
8:00 出勤時

財務省では、通常9:30が始業時間となっていますが、私は、少し早めに登庁するよう心がけています。登庁後は、朝刊各紙や国内外のニュースに目を通し、国庫課の業務に関連する記事がないかチェックします。業務に関連する記事があれば、速やかに担当係へ連絡し、対応方針を協議します。朝刊等のチェックを終えた後は、メールチェックと予定の確認を行います。課内各係が抱えている案件の進捗状況を把握し、速やかな対応が必要なものから優先的に処理できるよう調整を行うのが、企画係員の一つの役割です。

10:00 午前

国内外のメディア・政府機関からの取材・問い合わせ対応を行います。国庫課は国民生活に身近な通貨を所管しているため、取材や問い合わせを多数いただきます。この日は、課長への取材があり、私も撮影用の資料を持って会場へ同行しました。後日、掲載された記事を見て、自身の業務が目に見える形になることに喜びを感じました。

12:00 昼食時

財務省内には食堂が3か所あり、いずれかの食堂を利用する方もいれば、コンビニで済ませる方、お弁当を持参する方など、お昼の過ごし方は職員によって様々です。私は、同期や先輩と他省庁の食堂や、虎ノ門界隈のお店に食べに出ることが多いのですが、他部署の業務の話やプライベートな話をしたりして、リフレッシュできる大切な時間になっています。また、財務省では、定期的に研究者や講師を招いてランチミーティングを開催しており、興味のあるテーマの日は積極的に参加するようにしています。

14:00 午後

CBDCについて関係機関と意見交換を実施します。会議中はメモをとり、議論の概要を簡単にまとめます。着任当初は、初めて聞く単語が多く戸惑いましたが、関連著書を読んだり、セミナー等に参加することで、徐々に議論の内容を理解できるようになりました。

18:15 退庁前

取材対応などのため、日中に時間が取れなかった業務を終わらせ、翌日スムーズに業務に入れるよう準備をしてから退庁します。国会の開会中や緊急の対応が入った場合は、終業が遅くなることもありますが、この日は何もなく、定時退庁となりました。特にここ数年、財務省全体で業務改善に取り組んでおり、定時退庁がしやすい環境になってきています。早く退庁できた日は、最近始めたゴルフの練習やランニングを行い、デスクワークで凝り固まった身体を動かすようにしています。

## 休日の過ごし方

休日は、気分転換をする貴重な時間となっています。この日は、近畿財務局に出向している先輩に会うため、大阪へ旅行に出かけました。入省当時からお世話になっている先輩に久しぶりに会うことができ、近況報告や昔話に花が咲きました。財務省で働いている方は気さくで頼りがいのある方が多く、困ったことがあると親身に相談に乗っていただけます。私もそんな先輩方のようになりたいと大きな背中を追う毎日です。



**START**  
月

私の担当業務の一つに、JICA出資金の予算要求があります。この日は、水曜日に予定されている主計局への来年度予算要求方針の説明に先駆けて、JICAの財務状況や今後の課題について把握するため、JICAの担当の方へのヒアリングを行いました。予算の必要性を的確に把握するため、積極的に質問し、疑問点を解消するように努めています。

火

前日のヒアリングの内容を踏まえ、翌日の予算説明で用いる資料を作成します。資料作成の際は、ヒアリングの際のメモを見返しながら、重要なポイントを抜き出し、予算の必要性が簡潔に伝わるよう努めています。特に予算の説明資料は細かい数字を用いる事が多いですが、時には図表を工夫して用いることで、分かりやすく記載

水

前日に準備した資料を用いて、主計局へ所管業務の概要や来年度予算要求の方針について説明を行います。今回は初回の説明でしたので、経済協力費の全体像や重点事項を中心とした議論がなされました。説明の後は、その議論の中で新たに出た課題や、先方からの質問内容について記録を作成します。

木

先日の主計局への説明を経て生じた作業や新たな課題について、係内で齟齬がないか問題意識を共有し、今後の対応の検討を行います。また、主計局と予算の必要性について折り合えるよう、経済協力費のとりまとめ担当者として調整するが必要があり、新たな課題については、各予算の担当者とも共有し、対応方針について議論します。

金

昨日作成した「支払予定表」に関して、予算の支出を行っている担当者とともに、認識の齟齬が無いかを確認します。また、来週以降の主計局への予算説明の際に議論になりそうな論点を整理し、説明資料を作成します。必要な資料を作成したら、内容を上司へ報告します。

## 休日の過ごし方

平日のモチベーションを維持するために、休日は気分をリフレッシュすることに専念しています。東京には美味しい食べ物がたくさんあるので、食べ歩きや気になるレストランで食事をしたり、テーマパークやショッピングに出かけたりもしています。なお、1年前からサウナにはまっており、近所のサウナ施設によく通っています。また、平日はなかなか家事に充てる時間が確保できないことから、休日に部屋を掃除して、心地よく過ごせるよう努めています。



日々新しいことを学ぶことができ、また、風通しの良い雰囲気だと思っています。**経済動向を見たり、上司や先輩に知識を共有していただいたり、毎日新しい学びがあります。**また、仕事を1人で任せていただき、成長を褒めていただけることも多く、向上心をもって仕事ができる職場です。

## 職場の雰囲気はどうか？

役職に関わらず一人ひとりが明確な役割を持ち、仕事をしています。自分自身、その責任からプレッシャーを感じることもありますが、そうした**不安を察して、助けてくれる先輩がたくさんいます。**自分としては、まさに理想の職場です！

とても風通しのよい職場だと思っています。**上司や先輩に質問・相談しやすい雰囲気、分からないことを丁寧に教えてくれますし、**手の空いた際には雑談することも多く、和気あいあいとしています。また、時期によって異なりますが、テレワークや休暇が取りやすくプライベートに充てる時間が作りやすいです。

1年目はほとんどが初めて行う仕事なので、上司や先輩から教えていただく機会も多いです。このため、**一度教わったことは必ずメモを取り、同じ質問を繰り返さないようにしています。**また、なぜこの業務を行うのかについても把握するよう心掛け、業務についての知識を深め、より視野を広げることを意識しています。

**素早さと丁寧さの両立を心掛けています。**どんなに些細なミスでも、後に大きな問題になる場合があるので、素早く処理しなければならない中でも、一つひとつ丁寧に作業をこなすようにしています。

スケジュール感を意識して仕事を行っています。個別の業務に取り組むにあたって、まず前回のプロセスを確認しますが、準備に要した時間等、細かい情報は残っていないことも多いので、**早めに業務内容を把握し、締切から逆算してスケジュールを立て、期日に間に合うように業務をこなしていくこと**を心がけています。

## どんなことを心掛けて仕事をおこなっていますか？

**どんな仕事に対しても、自分なりの考えや疑問点を整理した上で取り組むようにしています。**また、私の所属している総務課では、とりまとめの仕事をする場面が多く、メールや電話で説明する際は、できるだけ分かりやすく順序立てて説明することを心掛けています。

財務省の業務は国家予算の編成など非常に大きいスケールの仕事だと思っていました。しかし、財務省の仕事が世の中に還元されるまでには、**多くの人の小さな仕事の積み重ねで出来上がっているということ**を学びました。私も目の前の仕事に丁寧に取り組み、世の中にも少しでも貢献できるよう精進していきたいです。

# 令和3年採用職員

令和3年採用職員9名に、就職活動の思い出や

# からのメッセージ

入省してからの1年間を振り返ってもらいました。

アンテナを高く張り、周りに気を使えるようになりました。入省したての頃は、自分の仕事に精一杯で周りが見えていませんでしたが、**少しずつ周囲に気を配れるようになり、積極的に周りの業務にも関わられるようになり**ました。先輩にもアンテナを高くと言われていましたが、周りを気にすることで今どんなことをしているのか、どんな問題が発生しているのかわかるようになり、ただ漠然とこなしていた仕事の意味も理解できるようになったので、とても大切なことだと思います。

## 入省してから成長したと思う部分はどんな部分ですか？

**一つひとつの仕事に対し、落ち着いて対応できるようになりました。**入省して間もないころ、当時の係長から「慌てそうになったら深呼吸！」と助言を頂きました。以来、忙しくなって混乱しそうなきときは、この助言を思い出し、落ち着いて業務を処理することができるようになりました。

タスク管理を上手く行えるようになったと思います。様々な案件を受け持つため、それぞれの作業の優先度を踏まえ、時間のかかる案件については、**いつまでに何をすべきか、逆算したスケジュールを考えながら動くことが出来るようになった**と思います。

財務省は忙しいイメージがあり、入省前は、1年目に休暇を取得することは難しいかと思っていました。しかし、私が配属された部署は、通年忙しいわけではなく、**繁忙期と閑散期のメリハリがあるので、閑散期は定時退庁するなどプライベートの時間も確保できています。**

私は説明会に参加し、**若手職員であっても自らの業務に責任感を持って働く先輩方に憧れ、財務省を志望しました。**実際に働く中で、この1年先輩方に変なお世話になり、こんな先輩職員になりたいという目標を持つことができました。みなさんにも是非、数多くの説明会に参加していただき、財務省の業務内容はもちろんのこと、ともに働く方々の人柄にも触れていただければと思います。

## 入省前と入省後ではギャップはありますか？

財務省は**予算や税制だけではなく様々な業務を行っており、入省後も自分の可能性を広げることのできる場所**です。一度足を運んでいただき、メリハリのある職場の雰囲気や、財務省職員の優しい人柄など、財務省の魅力を感じていただければと思います。

## 財務省を志望する方へメッセージ

入省前は、国の予算や税金等に関する仕事柄、堅い雰囲気職場を想像していましたが、**仕事には集中して真面目に取り組む一方で、手が空いたら雑談して笑いあったり、業務の節目を迎えたらみんなでお茶会をしたりなど、明るく楽しい人ばかりでした。**毎日忙しく、仕事に没頭する日々を想像していましたが、それだけではなく、時には真剣に、時には楽しく仕事することができています。

私は説明会に参加したときに雰囲気の良さを感じ、財務省を選びました。**自分が国民の生活を支えているという誇りを持って仕事に取り組めます。**みなさんも是非、各省庁等の説明会に参加していただき、その上で財務省が選択肢となれば非常に嬉しく思います。

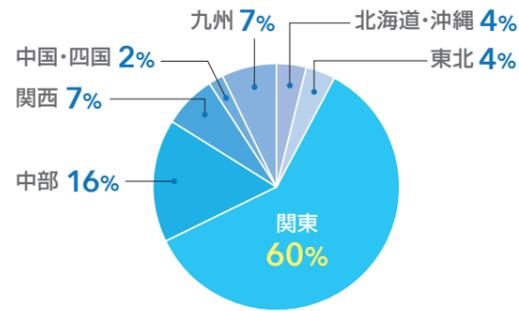


# 若手職員アンケート

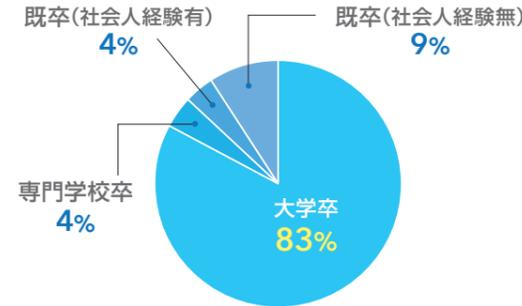
入省8年目までの若手職員から入省前の経歴や、入省後の生活、働き方など様々なことを聞いてみました!!



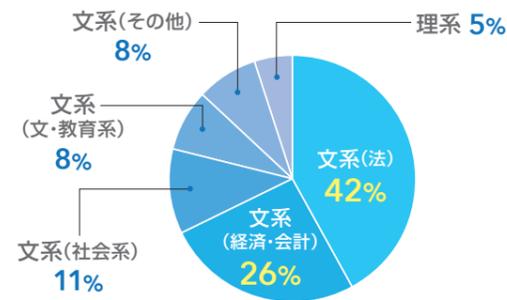
## Q1 出身地はどこですか?



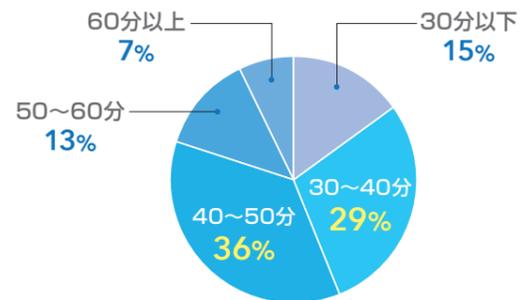
## Q2 採用時の経歴は?



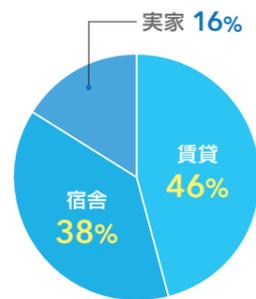
## Q3 大学で何を学んでいましたか?



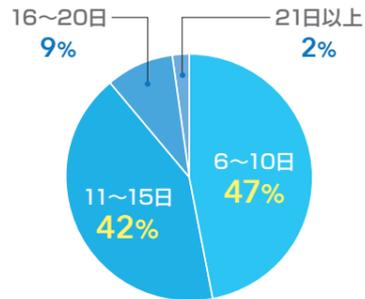
## Q4 毎日の通勤時間はどのくらいですか?



## Q5 現在の居住形態は?



## Q6 有給取得日数について



## Q7 退庁時間は何時ごろですか?

	1位	2位	3位
通常期	19:00	20:00	18:15
繁忙期	24:00	21:00	23:30
閑散期	18:15	19:00	18:45

# 採用担当者からのメッセージ

## 「人材」に対して求めているもの

財務省の業務は、予算編成、税制の企画立案、関税交渉、国の資産・債務管理、為替・国際金融市場の安定など、いずれも国の根幹に関わるものであり、職員が立ち向かう課題は多岐にわたります。様々な課題に立ち向かい、広く社会の持続可能性を追求し、適正・公平な行政を行っていくために最も必要なものは、強い権限でも多くの情報でもなく「人材」であり、これまで以上に、多種多様な知識や経験を持つ職員を必要としています。

その「人材」に対して、第一に求めているものは、業務をしていくうえで必要となる様々な知識や経験を活かすための土台となる、コミュニケーション能力です。ここでのコミュニケーション能力とは、明るく元気に会話ができるということではなく、自分の頭で考え、かつ、それを自分の言葉でしっかりと伝えることができること、と考えています。

## 個性・才能のある皆さんとの出会い

このパンフレットの作成にあたっては、財務省が担う幅広い業務や、職員の人柄について、皆さんにできるだけ分かりやすく理解していただけるよう、工夫して作成したつもりです。

とはいえ、このパンフレットに掲載した内容だけでは、職員一人ひとりが様々な課題に向き合っている姿を、理解してもらうことは勿論困難です。ぜひ、財務省職員と直接お話いただき、様々な課題に対して、どのように仕事をしているか、直に聞いてみてください。職員の生の声は、きっと皆さんの心に何かを残せるはずです。

様々な課題がある一方、公務という場において、国民一人ひとりのために仕事をするという事は、前向きに取り組む志があれば、やりがいも多く得られることができます。私たち採用担当者一同、ぜひ、個性豊かな皆さんと出会えることを楽しみにしています。



## 財務省本省一般職の

### これまでの採用実績

国家公務員一般職試験(大卒程度)合格者からの採用者数は、令和3年度には9名、令和4年度には12名となっております。過去5年間の採用者状況は右表のとおりです。

	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般職(大卒程度)採用者	12	7	5	9	12
うち女性数	4	3	3	6	6